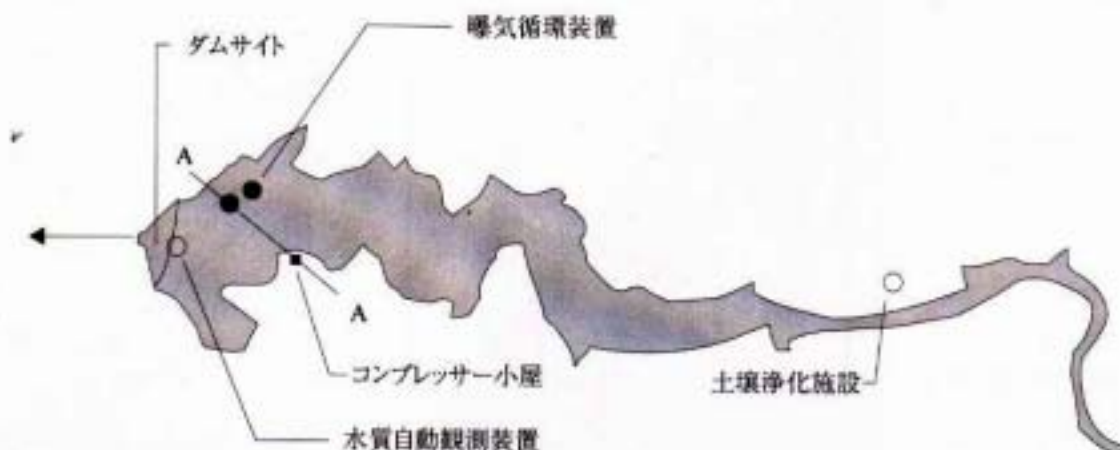
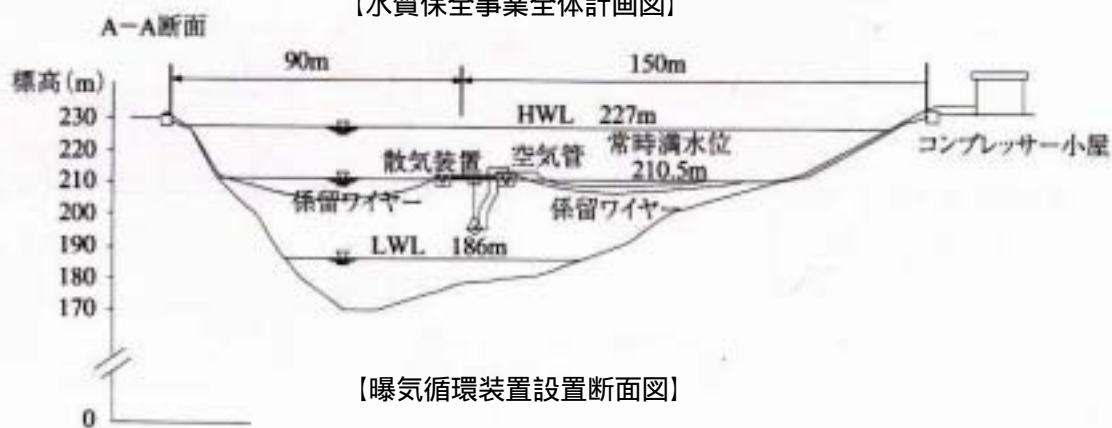


事例 NO.24		
事業の種類	河川等	
環境配慮の概要	ダム貯水池の水質の改善	
事業名	魚切ダム貯水池水質保全事業	
事業主体	広島県（担当機関：広島地域事務所建設局 魚切ダム管理事務所）	
実施場所	広島市佐伯区五日市町上河内	
実施期間	平成4年度～平成13年度	
事業概要	全体事業費	1,056百万円
	施工区間等	魚切ダム及びダム周辺
	事業の目的・経緯等	魚切ダムでは、富栄養化によりアオコが発生し、ダム下流の浄水場から送水する水道水に悪臭が発生するなど上水の利用に支障を来している。このため、貯水池内対策として曝気循環装置によるアオコ発生抑制及び流入河川対策として土壌浄化施設によるリンの除去を行い、ダム及びダム周辺の環境保全を進める。
環境配慮の内容	<p>実施内容等</p> <p>(1) 貯水池内対策 貯水池内に曝気循環装置を設置し、貯水池に循環流を発生させ、アオコが発生しづらい環境を作りだし植物プランクトンの発生を抑制する。</p> <p>(2) 流入河川対策 流入河川部にリン吸着特性を有した黒ボク土を用いた土壌浄化施設を配置して、流入河川水中のリンを除去することにより、アオコの発生を抑制する。</p>	
施工後の状況	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 曝気循環装置により、アオコの発生は減少傾向にあるが、貯水池内のT-P（全リン）値は悪化傾向にあり、平成12年度には、下流浄水場から送水する水道水に悪臭が発生する被害が出ている。 土壌浄化装置については、平成13年の現地調査において概ね良好な負荷除去効果を発揮している。 	
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> 上流域の開発等による流入負荷量増大により水質悪化が懸念されており、上流域を含めた流入河川対策の必要が生じたため、平成14年度に、魚切ダム貯水池水質改善計画を策定した。今後、発生源対策やダム湖内対策、アオコ発生要因等の調査・研究等の施策を推進し、その効果を検証していく必要がある。 土壌浄化装置の中に目詰まり速度の速い池があり、状況を注視する必要がある。また、洪水時、導水路に堆砂するため、その対策を検討する必要がある。 	

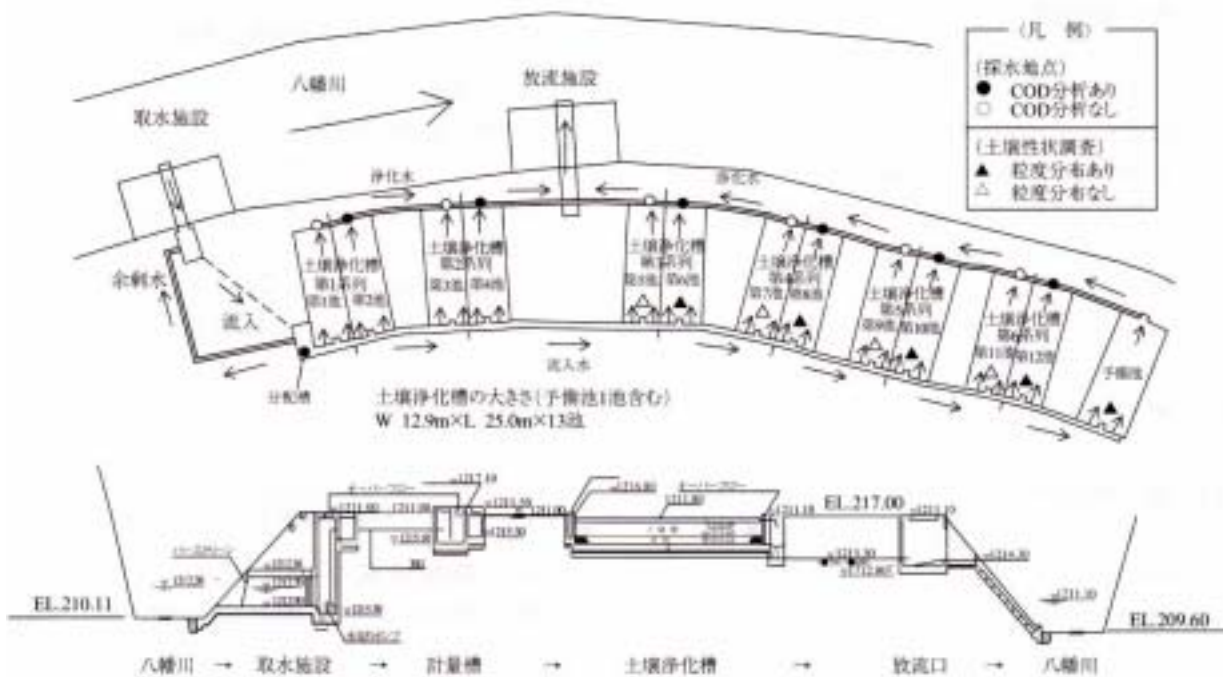
(図面, 写真, 説明)



【水質保全事業全体計画図】



【曝気循環装置設置断面図】



【土壌浄化施設平面図(上)及び断面図(下)】

出典